The ascmac package v2.0b

Japanese TEX Development Community

作成日:2016/04/15

Contents

1	はじめに	1
2	使いかた 2.1 環境型の命令	3
3	コード	4

1 はじめに

ascmac パッケージは、pIFTEX 2ε の標準機能の範囲で、図や罫線で囲んだボックスを出力する命令などを提供します。ascmac パッケージの実体は tascmac パッケージですが、これはもともと古い pIFTEX で配布されていた横組専用 ascmac パッケージと、それを縦組に対応させた tascmac パッケージを統合した名残です。

このドキュメントは、アスキーによって配布されている 2006/07/14 バージョンから派生して、日本語 $T_{\rm E}X$ 開発コミュニティによって開発されているバージョンのために新たに書かれました。コミュニティ版では、オリジナルのアスキー版のコードを元に、いくつかのバグ修正と他のパッケージとの互換性を改善しました。

2 使いかた

2.1 環境型の命令

ascmac パッケージが提供する環境型の命令は4種類あります。それぞれテキストなどを罫線枠で囲んで出力します。

これらの環境は、すべて横幅がその時点での \linewidth の値になりますので、ボックスの幅を変更したい場合は minipage 環境などで囲んでください。縦の長さは、自動的に内容に合わせて調整されます。

boxnote

boxnote 環境は、破ったメモ用紙のような雰囲気のボックスを作ります。破ったような形の罫線は、ascgrp フォントを使って実現されています。



ボックスノート環境です。

は、以下の入力から得られます。

\begin{boxnote} ボックスノート環境です。 \end{boxnote}

screen

screen 環境は、四隅が丸い囲み枠の中にテキストを入れます。オプション引数として 0 から 8 の整数値を指定すれば、四隅の丸みの具合を変更することができます。整数値を大きくするにつれて丸みは小さくなっていきます。省略した場合は 0 とみなされます。

四隅が丸い囲み枠です。

四隅が丸い囲み枠です。

は、以下の入力から得られます。

\begin{screen}
四隅が丸い囲み枠です。
\end{screen}
\begin{screen}[4]
四隅が丸い囲み枠です。
\end{screen}

itembox

itembox 環境は screen 環境に似ていますが、上端の罫線のところにタイトルを出力することができます。また、オプション引数 1, c, r でタイトルの出力位置を左、中央、右と指定できます。省略した場合は中央になります。

- タイトル ―

項目ボックスです。

は、以下の入力から得られます。

\begin{itembox}[1]{タイトル}項目ボックスです。 \end{itembox}

shadebox

shadebox 環境は、影付きボックスの中にテキストを入れます。影の幅は \shaderule パラメータで規定され、デフォルトは 5pt です。

影付きのボックスです。

は、以下の入力から得られます。

\begin{shadebox} 影付きのボックスです。 \end{shadebox}

2.2 網掛け命令

網掛けをする命令が3種類用意されています。\mask 命令は、引数の内容の部分に網を掛けます。\maskbox 命令と \Maskbox 命令は、幅と高さを指定して網掛けすることができます。そして、\maskbox 命令と \Maskbox 命令の違いは、後者のみボックスの周りに罫線を引くという点です。

これらの命令は、いずれも ascgrp フォントに収録されている網掛けパターンの文字を並べることで網掛けを実現しています。

 \mbox{mask} \mbox{mask} 命令は、第1引数が網掛けをする内容で、第2引数が網掛けパターンを示す記号 $(A\mbox{ から } K)$ です。

網掛け例1 網掛け例2

は、以下の入力から得られます。

\mask{網掛け例 1}{A} \hfil \mask{網掛け例 2}{C}

\maskbox \maskbox 命令は5つの引数を持ち、それぞれボックスの幅、高さ、網掛けパターン、出力位置、網掛けをする内容です。出力位置は1,c,rのいずれかで、それぞれ左、中央、右に出力します。

幅を指定した網掛けボックス

は、以下の入力から得られます。

 $\max{25em}{4em}{E}{c}{幅を指定した網掛けボックス}$

\Maskbox

 $\mbox{Maskbox}$ 命令は $\mbox{maskbox}$ 命令と同様の引数を持ちますが、網掛けをする内容の指定の前、すなわち 5 番目の引数として、ボックスを囲む罫線の太さも指定します。したがって、全部で 6 つの引数を持ちます。

幅を指定した罫線付き網掛けボックス

は、以下の入力から得られます。

 $Maskbox{30em}{4em}{A}{c}{1pt}{幅を指定した罫線付き網掛けボックス}$

2.3 その他の命令

\keytop \keytop コマンドは、キーボード上の文字を示すときなどに便利です。

入力 出力 人keytop{A} A 人keytop{あ} あ

Yen円記号を出力する \yen 命令は、Y と=を重ね合わせて出力しています。改行記\return号は \return と \Return です。改行記号は ascgrp フォントを用いています。\Return

入力 出力 \yen ¥ \return ✔ \Return

\ascii アスキーコーポレーションのロゴを出力する命令です。サイズは3種類用意され \Ascii ています。

\ASCII



ASCII ASCII CORPORATION



3 コード

```
ascmac パッケージは tascmac パッケージのラッパーです。
                    1 (*ascmac)
                    2 \RequirePackage{tascmac}
                    3 (/ascmac)
                     tascmac パッケージの動作条件は、pIATeX 2g です。
                    4 (*tascmac)
                    5 %%
                    6 %% Actually 'tascmac' requires pLaTeX2e, but LuaTeX-ja can handle the
                    7 %% code properly; so \NeedsTeXFormat{LaTeX2e} on purpose.
                    8 %% Check is included below:
                    9 %%
                   10 \ifx\kanjiskip\@undefined
                   11
                       \@ifpackageloaded{luatexja}{%
                   12
                         \PackageInfo{tascmac}{%
                   13
                          Patch from LuaTeX-ja will be applied}%
                      }{%
                   14
                         \PackageError{tascmac}{%
                   15
                          'ascmac' and 'tascmac' can be used only in pLaTeX,\MessageBreak
                   16
                          upLaTeX or LuaLaTeX with LuaTeX-ja support.\MessageBreak
                   17
                          Consider using 'bxascmac' instead.\MessageBreak
                   18
                          See https://github.com/zr-tex8r/BXptool for detail}{}%
                   19
                      }%
                   20
                   21 \fi
\@savetbaselineshift \tbaselineshift と \ybaselineshift を一時退避するための準備です。
                   22 %%
\@saveybaselineshift
                   23 %% ascmac.sty 10/28 '88
                   24 %% ASCII special macros
                   25 \newdimen\@savetbaselineshift
                   26 \newdimen\@saveybaselineshift
                   27 %%
          \@@ASCII アスキーコーポレーションのロゴです。
            \ascii 28 %% ASCII logo
                   29 \def\@@ASCII#1#2#3{\shortstack{#1 ASCII \\[#3]
            \Ascii
                   30 \fontsize{#2}{\z@}\usefont{OT1}{cmss}{m}{n}ASCII CORPORATION}}
            32 \@@ASCII\@ascii{5pt}{-6pt}}
                   33 \def\Ascii{\@ifundefined{@Ascii}{\font\@Ascii=ascii10 scaled \magstep5}{}%
                   34 \@@ASCII\@Ascii{6pt}{-7pt}}
                   36 \@@ASCII\@ASCII{9pt}{-9pt}}
                   37 %%
```

boxnote 環境などで使う命令の準備です。

```
40 \newbox\scb@x \newbox\scscb@x
                 41 \newdimen\@bw\newbox\@nbox\newbox\@nbody
                 boxnote 環境を定義します。
boxnote
                 42 \def\boxnote{\par\vspace{.3\baselineskip}%
                         \@saveybaselineshift\ybaselineshift\z@
                         \@savetbaselineshift\tbaselineshift\tbaselineshift\z@
                 44
                         \setbox\@nbox=\hbox{\@ascgrp\vrule width1.08pt depth35pt b\hss a\hss b}
                 45
                         \@whiledim \wd\@nbox<\hsize \do{
                 46
                         \setbox\@nbox=\hbox{\@ascgrp\unhbox\@nbox \hss a\hss b}}
                 47
                         \setbox\@nbox=\hbox to\hsize{\@ascgrp\unhbox\@nbox \hss a\hss b%
                 48
                         \vrule width1.08pt depth35pt}
                 49
                 50
                         \@bw=\wd\@nbox\advance\@bw -40pt
                         \begin{lrbox}{\nbody}\begin{minipage}{\nbody}% (KN:1998/02/27)
                 51
                              \ybaselineshift\@saveybaselineshift \tbaselineshift\@savetbaselineshift}%
                 52
                 53 \def\endboxnote{\end{minipage}\end{lrbox}%
                         \vbox{\parindent=0pt\offinterlineskip\copy\@nbox
                 54
                         \hbox to\wd\@nbox{\vrule width1.08pt\hfil\box\@nbody\hfil\vrule width1.08pt}
                 55
                         \hbox to\wd\@nbox{\vrule width1.08pt height15pt\hfil
                 57
                         \vrule width1.08pt height15pt}\hrule height1.08pt}}
                 58 %%
                     screen 環境などで使う命令の準備です。
                 59 %% screen environment
                 60 \newdimen\@scw
                 61 \def\@hobox#1#2#3{\hbox to\@scw{\oval(#3,#3)[#1]\hfil\oval(#3,#3)[#2]%
                         \dimen\z@=#3\unitlength\advance\dimen\z@\@wholewidth
                         \vrule\@width\z@\@height\z@\@depth.5\dimen\z@}}
                 64 \def\@vrf@#1#2{\vskip#1\leaders\vrule width#2\vfil\vskip#1}
  screen
                 screen 環境を定義します。
                 65 \def\screen{%
                         \@saveybaselineshift\ybaselineshift \ybaselineshift\z@
                         \@savetbaselineshift\tbaselineshift \tbaselineshift\z@
                         \@ifnextchar[{\@screen}{\@screen[0]}}
                 69 \end{argue} def\end{argue} def\
                         \def\@r{18}\def\@s{8.8pt}\def\@sx{9pt}\or
                 70
                         \def\@r{16}\def\@s{7.8pt}\def\@sx{8pt}\or
                 71
                         72
                         \def\@r{12}\def\@s{5.8pt}\def\@sx{6pt}\or
                 73
                 74
                         \def\@r{10}\def\@s{4.8pt}\def\@sx{5pt}\or
                         \def\@r{6}\def\@s{2.8pt}\def\@sx{3pt}\else
                 77
                         \par\vspace{.3\baselineskip}\@scw\linewidth \advance\@scw -\@r pt
```

38 %% boxnote environment 39 \font\@ascgrp=ascgrp

```
\setbox\scb@x=\hbox to\@scw\bgroup\begin{minipage}{\@scw}% (KN:1998/02/27)
         79
               \ybaselineshift\@saveybaselineshift \tbaselineshift\@savetbaselineshift}%
         80
         81 \def\endscreen{\end{minipage}\egroup%
             \setbox\scscb@x=\hbox to\linewidth{\hfil\vbox{\offinterlineskip%
         82
             \thinlines\etlength{\unitlength}{1pt}\hrule\kern\@s\%
         83
             84
             \kern-.4pt\hrule}\hfil}\dimen0=\ht\scscb@x%
             \dimen2=\@sx\advance\dimen2 .2pt
         86
         87
             \noindent\hbox to\linewidth{\hbox to.2pt{\vbox to\dimenO{\@vrf@{\dimen2}{.4pt}}}%
            88
         89 %%
           itembox 環境などで使う命令の準備です。
         90 %% itembox environment
               replace \box0 with \@iboxstr; thanks FTEXers (1998/11/27)
         92 \newdimen\@itemh\newtoks\@iboxpos\newbox\@iboxstr
         93 \def\@hleader{\leaders\hrule height .8pt\hfil}
itembox itembox 環境を定義します。
         94 \def\itembox{\@ifnextchar[{\@itembox}{\@itembox[c]}}
         95 \def\@itembox[#1]#2{%
             \@saveybaselineshift\ybaselineshift\z@
         96
             \@savetbaselineshift\tbaselineshift\tbaselineshift\z@
         97
         98
             \par\vspace{.3\baselineskip}%
         99
             \setbox\@iboxstr=\hbox{%
             \ybaselineshift\@saveybaselineshift \tbaselineshift\@savetbaselineshift #2}%
        100
             \@itemh\ht\@iboxstr\advance\@itemh\dp\@iboxstr
        101
             \vspace{.5\@itemh}\bgroup\@scw\linewidth
        102
        103
             \advance\@scw-20pt\@iboxpos={#1}%
             \setbox\scb@x=\hbox to\@scw\bgroup\begin{minipage}{\@scw}%
        104
             \ybaselineshift\@saveybaselineshift
             \tbaselineshift\@savetbaselineshift% (KN:1998/02/27)
        106
             \vspace*{.5\@itemh}}%
        107
        108 \def\enditembox{\end{minipage}\egroup%
             \setbox\scscb@x=\hbox to\linewidth{\hfil\vbox{\offinterlineskip%
        109
             \thicklines\setlength{\unitlength}{1pt}%
        110
             \hbox to\@scw{\if 1\the\@iboxpos\else\@hleader\fi
        111
               \space\vbox to.8pt{\vss\hbox{\box\@iboxstr}\vss}%
        112
        113
               \space\if r\the\@iboxpos\else \@hleader\fi}\kern9.6pt
        114
             \kern-.8pt\hrule height.8pt}\hfil}\dimen0=\ht\scscb@x%
        115
        116
             \noindent\hbox to\linewidth{\hbox to.4pt{\vbox to\dimenO{\@vrf@{10.4pt}{.8pt}}}%
             \hss\\box\scscb@x\hbox to.4pt{\hss\vbox to\dimenO{\@vrf@{10.4pt}{.8pt}}}%
        117
        118
             \hss}\egroup}
        119 %%
\keytop \keytop 命令です。
\@keytop
```

```
120 %% \keytop
                        121 \def\keytop{\@ifnextchar[{\@keytop}{\@keytop[d]}}
                        122 \def\@keytop[#1]#2{%
                                       \label{thm:linear_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z0_lineshift_z
                        123
                                       \dimen0=\wd0\advance\dimen0 5pt\dimen1=\dp0\advance\dimen1 2.5pt%
                        124
                        125
                                       \setbox\scscb@x=\hbox to\dimenO{%
                        126
                                       \iftdir\tate\else\yoko\fi
                        127
                                       \@scw\wd0\hfil\vtop{\offinterlineskip
                                       \thinlines\etlength{\unitlength}{1pt}\hrule\ern2.3pt\\\c t1}{tr}5\%
                        128
                                       \end{area} $$ 
                        129
                                       \dimenO=\dp\scscb@x\advance\dimenO -.4pt
                        130
                                        131
                                        \box\scscb@x\hbox to.2pt{\hss\vtop to\dimenO{\@vrf@{2.3pt}{.4pt}}}}}%
                        132
                                       \if #1c\mbox{}\vcenter{\box0}\mbox{}\else
                                       \if #1t\else\if #1b\boxmaxdepth=Opt\else
                        134
                                       135
                        136 %%
         \yen 円記号です。
                        137 %% \yen
                        138 \ensuremath{\leavevmode\hbox{\iftdir\yoko\fi}}
                                       \setbox0=\hbox{Y}Y\kern-.97\wd0\vbox{\hrule height.1ex width.98\wd0
                                       \kern.33ex\hrule height.1ex width.98\wd0\kern.45ex}}}
\return 改行記号です。
\Return 141 %% return-key
                        142 \def\return{\leavevmode\hbox{\iftdir\yoko\fi\@ascgrp\char"20}}
                        143 \def\Return{\leavevmode\hbox{\iftdir\yoko\fi\@ascgrp @}}
                        144 %%
                                 \mask 命令の準備です。
                        145 %% \mask
                        146 \newbox\@bwsp \newbox\@@bwsp\newcount\@bcal
                        147 \def\setdim@#1#2{\@bcal=#2\divide#1\@bcal\multiply#1\@bcal\advance#1 1.001#2}
      \mask \mask 命令を定義します。
                        148 \det \text{mask#1#2}{{\text{bwsp=}hbox{#1}}}
                                        \setbox0=\hbox{\ybaselineshift\z@\tbaselineshift\z@ \@ascgrp#2}%
                                        \dimen0=\wd\@bwsp\dimen1=\ht\@bwsp\advance\dimen1\dp\@bwsp\dimen2=-\dimen1
                        150
                                        \end{area} \setdim@{\dimen1}{\ht0}%
                        151
                                        \setbox\@@bwsp=\hbox to\dimenO{\leaders
                        152
                        153
                                        \vtop to\dimen1{\leaders\box0\vfil}\hfil}%
                        154
                                        \advance\dimen2\dp\@@bwsp\divide\dimen2 2
                                        \advance\dimen2\dp\@bwsp\boxmaxdepth=\dimen2
                                        \setbox\@@bwsp=\vbox{\box\@@bwsp}%
                        156
                                       \mbox{}\hbox to\wd\@@bwsp{\hbox toOpt{\box\@@bwsp\hss}\hss\unhbox\@bwsp\hss}}}
                        157
                        158 %%
```

```
\maskbox 命令の準備です。
         159 %% \Maskbox{width}{height}{mask_char}{pos}{rule_wid}{body}
         160 %% \maskbox{width}{height}{mask_char}{pos}{body}
         161 \def\@setdim#1#2{\@bcal=#2\divide#1\@bcal\multiply#1\@bcal\advance#1 .001#2}
\Maskbox \maskbox 命令と \Maskbox 命令を定義します。
\maskbox 162 \def\Maskbox#1#2#3#4#5#6{{%
         163
              \setbox0=\hbox{\ybaselineshift\z@\tbaselineshift\z@ \@ascgrp#3}%
         164
              \label{limen0} $$\dim 0=\#1\ \dim {\dim 0}_{\wd0}\dim 1=\#2\\ \dim {\dim 1}_{\ht0}% $$
         165
              \ifx#4c\skip0=0pt plus1fil\skip1=\skip0\fi
         166
              \ifx#4r\skip0=0pt plus1fil\skip1=0pt\fi
              \ifx#41\skip1=0pt plus1fil\skip0=0pt\fi
         167
             \leavevmode
         168
             \hbox{\hbox toOpt{\hbox to\dimenO{\leaders\vbox to\dimen1{\leaders}
         169
             \box0\vfil}\hfil}\hss}%
         170
              \vrule width#5\vbox to\dimen1{\hrule height#5\vfil
         171
              \dimen3=#5\advance\dimen0-2\dimen3\advance\dimen0 .15pt
         172
              \hbox to\dimenO{\hskip\skip0\relax#6\hskip\skip1}%
         173
              \vfil\hrule height#5}\vrule width#5}}}
         175 \det \text{maskbox} 1#2#3#4#5{\mathbb{4}}{#2}{#3}{#4}{0pt}{#5}}
         176 %%
            shadebox 環境で使う命令の準備です。
         177 %% shadebox environment
         178 \newdimen\shaderule\shaderule 5pt
shadebox shadebox 環境を定義します。
         179 \def\shadebox{\par\vspace{.3\baselineskip}%
         180
              \@saveybaselineshift\ybaselineshift\z@
         181
              \verb|\@savetbaselineshift\tbaselineshift\tbaselineshift\tbaselineshift| \\
              \dimen0\linewidth \advance\dimen0-20pt
         182
         183
              \advance\dimen0-2\fboxrule \advance\dimen0-\shaderule
              \setbox\@tempboxa=\hbox\bgroup\minipage{\dimen0}%
         184
                \ybaselineshift\@saveybaselineshift \tbaselineshift\@savetbaselineshift}
         186 \def\endshadebox{\endminipage\egroup\dimen0=10pt
              \setbox\@tempboxa=\hbox{\kern\dimen0\unhbox\@tempboxa\kern\dimen0}%
         187
              \setbox0=\vbox{\hrule \@height \fboxrule
         188
              \hbox{\vrule \@width \fboxrule
         189
              \vbox{\vskip\fboxsep \box\@tempboxa\vskip\fboxsep}%
         190
              \vrule \@width \fboxrule}\hrule \@height \fboxrule}%
         191
              \dimenO=\htO \advance\dimenO-\shaderule
         192
              \hbox{\hbox to \shaderule{\copy0\hss}\kern Opt
         193
              \vrule width\wd0 height0pt depth\shaderule\hskip-\shaderule
         194
```

\vrule width\shaderule height\dimen0}}

195 196 **%**%

197 (/tascmac)